

## 全国多自然川づくり会議にて事例発表しました

～一級河川雫石川河川等災害関連事業における多自然川づくりの取り組み～

盛岡広域振興局土木部災害復旧対策課

12月4日、5日に埼玉県さいたま市にて開催された『全国多自然川づくり会議』において、『一級河川雫石川御明神小赤沢地区河川等災害関連事業』\*における多自然川づくりの取り組み事例（詳細設計・発注段階）を発表しました。

※一級河川雫石川御明神小赤沢地区河川等災害関連事業

平成25年8月9日豪雨により大きな洪水被害を受けた、岩手郡雫石町御明神小赤沢地内において、被災箇所を原型復旧に併せて、上下流の河道掘削や護岸整備などの河川改修を行うことによって被災原因の除去を図るものです。

来年度（平成27年度）の事業完了を目標として、鋭意、事業を進めています。

<事業概要・進捗については盛岡広域振興局土木部ホームページをご覧ください！>  
<http://www.pref.iwate.jp/morioka/doboku/15406/index.html>

この会議は、国・都道府県・政令指定都市の職員を対象に、多自然川づくりに対する知見の蓄積や意識の向上を目的として毎年開催されている会議であり、11月4日に開催された東北地区ブロック会議において最優秀賞を受賞したことから、東北地区の代表事例として発表したものです。



東北地区ブロック会議での発表の様子

今回は**詳細設計・発注時の取り組み事例**として、雫石川の豊富な自然環境及び景観を活かすために予定している**①河畔林保全、②親水施設計画、③護岸ブロック選定、④河岸・水際部の処理方針**についての具体的な取り組み事例を発表し、コメントーターの先生方からは、示唆に富んだ意見や助言を数多く頂きました。



雫石川が有する自然環境・景観

今回の発表事例は、豪雨災害による被災箇所の復旧に起因する事業での取り組みであり、地域の皆さんが期待する“早期完成”を図ることが大命題となりますが、今回頂いた助言等を参考にしながら、限られた時間の中で様々な取り組みを進め、雫石川が有する豊富な自然環境や自然景観を活かした川づくりを推進していきます。